

平成 23 年 日本医学放射線学会総会(代議員会)議事録

日 時: 平成 23 年 5 月 29 日(日)15:00~17:00

場 所: 千里ライフサイエンスセンター5階 ライフホール
大阪府豊中市新千里東町 1-4-2

議 長: 理事長 杉村 和朗

代議員 248 名中委任状を含めた出席者 218 名で総会が成立することが確認された。定款 31 条の規定により理事長が議長となり、議事録署名人として江原茂君と中島康雄君が指名された。会議に先立ち 26 名の物故者に対して黙祷が捧げられ、杉村大会長の挨拶の後、議事の進行に入った。

議 案

第1号議案 平成 22 年度事業報告および収支決算報告について

第2号議案 平成 22 年度補正予算案および収支決算承認について

第3号議案 財産目録承認について(平成 23 年 2 月末日現在)

第4号議案 平成 23 年度事業計画および収支予算承認について

第5号議案 定款の変更について

第6号議案 会費と入会金について

第7号議案 名誉会員推薦について

第1号議案 平成 22 年度事業報告および庶務報告について
遠藤庶務担当理事より平成 22 年度事業報告および庶務報告について説明がなされた。

A. 事業報告

1. 第 69 回総会を会長杉村和朗主宰のもとに平成 22 年 4 月 8, 9, 10, 11 日の 4 日間、パシフィック横浜(横浜市)において開催。第 46 回秋季臨床大会を大会長福田国彦主宰のもとに平成 22 年 9 月 18, 19, 20 日の 3 日間、パシフィック横浜(横浜市)において開催。
2. 医学放射線に関する学術図書等の刊行
日本医学放射線学会雑誌 Japanese Journal of Radiology Vol.28 No.1 より逐次刊行した。
3. 第 21 回放射線科専門医認定一次試験を施行(平成 22 年 8 月 21 日)した。
第 19 回放射線科専門医認定二次試験を施行(平成 22 年 8 月 21, 22 日)した。
4. 関連学術集会
生物部会、地方会(各地方毎に年 2 回~4 回)、第 39 回断層映像研究会、第 24 回胸部放射線研究会、第 23 回頭頸部放射線研究会、第 24 回腹部放射線研究会、第 22 回骨軟部放射線研究会、第 20 回救急放射

線研究会、第 23 回電子情報研究会、第 71, 72 回心臓血管放射線研究会、第 15 回三次元CT・MRI研究会、第 12 回医用画像認知研究会、第 40 回放射線による制癌シンポジウム、第 30 回神経放射線ワークショップ、平成 22 年日英放射線医学協会例会、第 47 回理工学における同位元素放射線研究発表会、第 49 回原子力総合シンポジウム等を開催あるいは共催した。

B. 庶務報告

1. 平成 22 年定期総会(代議員会)開催月日および場所
第 69 回総会(代議員会)は平成 22 年 4 月 8 日、パシフィック横浜(横浜市)で行った。
2. 理事会、監事会、委員会開催
理事会は平成 22 年 3 月 16 日、4 月 8 日、4 月 11 日、4 月 26 日、6 月 14 日、8 月 21 日、22 日、9 月 18 日、10 月 25 日、12 月 20 日、平成 23 年 1 月 24 日、監事会は平成 23 年 4 月 25 日、計理事会 10 回、監事会 1 回を行った。
専門医制度委員会 6 回、教育委員会 2 回、編集委員会 1 回、保険委員会 2 回、放射線防護委員会 2 回、将来計画委員会 2 回、電子情報委員会 2 回、広報委員会 2 回、造影剤安全性委員会 2 回、医療事故防止委員会 2 回、倫理委員会 2 回、用語委員会 2 回、画像撮影委員会 2 回、学術・研究委員会 1 回、IT 化委員会 2 回を行った。
3. 現在会員数(平成 23 年 2 月末日現在)
平成 21 年度末会員 8336 名
平成 22 年度末会員数 8543 名(新入会員数含む)
平成 22 年度新入会員 313 名
平成 22 年度退会者 83 名
物故会員 23 名
平成 21 年度団体会員 142 社(購読会員含む)
4. 第 23 回優秀論文賞授賞者の選定を行った。
5. 板井研究奨励賞、日本医学放射線学会研究助成、班研究の選定を行った。
6. 関連学術団体との連絡協調
日本医学会、内保連、外保連、日本医師会疑義解釈委員会、日本専門医認定制機構、放射線治療品質管理機構に連絡員を派遣すると共に、医学発展のための各種問題につき相互に連絡をとった。
関連委員会から医学放射線物理連絡協議会構について、山田理事より関連 6 団体会合が年 2 回開催しているが、今年は震災で延期しており、近日中に開催予定で進めている旨報告がなされた。放射線防護連絡協議会について、中村理事より 3 月 27 日、日本医学会の協力を得て、緊急被ばくに関するチャリティ講演会を開催した旨の報告がなされた。

第2号議案 平成22年度補正予算案および収支決算承認について

A. 補正予算案(別表1)

公益法人化に向け予算の事業区分けが従来のものとは変更されている旨説明がなされ、補正予算案について本田会計担当理事より資料に基づき説明がなされ、これを承認した。

B. 収支決算(別表2)

第3号議案 財産目録承認について(別表3)

収支決算および財産目録について本田会計担当理事より資料に基づき説明がなされ、これを承認した。

これらの平成22年度の事業内容について監査を行った件について、井上監事より事業内容、会計等問題なく行われている旨監査報告がなされ、これを承認した。

第4号議案 平成23年度事業計画および収支予算承認について

大友庶務担当理事より平成23年度事業計画について説明がなされた。

A. 事業計画

1. 学術講演会の開催

第70回総会(Web開催)を会長大友邦主宰のもとに平成23年5月9~20日の12日間、パシフィック横浜(横浜市)において開催。第47回秋季臨床大会を大会長松永尚文主宰のもとに平成23年10月21, 22, 23日の3日間、下関海峡メッセ、生涯学習プラザ(下関市)において開催。

2. 医学放射線に関する学術図書等の刊行

名称	Japanese Journal of Radiology (Vol. 29)
型	A4
頁数	約100頁
刊行回数	1月, 2月, 4月, 5月, 6月, 7月, 8月, 10月, 11月, 12月(年10回)
部数	約8,900

3. 第22回放射線科専門医認定一次試験を施行(平成23年8月19日)

第20回放射線科専門医認定二次試験を施行(平成23年8月19日, 20日)

4. 優秀論文賞受賞者の選定, 板井研究奨励賞受賞者の選定, 日本医学放射線学会 Bayer 研究助成者の選定, 日本医学放射線学会班研究の選定を行う。

5. 関連学術集会

生物部会, 地方会(各地方毎に年2回~4回), 第40回断層映像研究会, 第25回胸部放射線研究会, 第24回頭頸部放射線研究会, 第25回腹部放射線研究会, 第23回骨軟部放射線研究会, 第21回救急放射

線研究会, 第24回電子情報研究会, 第73, 74回心臓血管放射線研究会, 第16回三次元CT・MRI研究会, 第13回医用画像認知研究会, 第41回放射線による制癌シンポジウム, 第31回神経放射線ワークショップ, 平成23年日英放射線医学協会例会, 第48回理工学における同位元素放射線研究発表会, 第50回原子力総合シンポジウム等を開催あるいは共催する。

6. その他

B. 収支予算書(別表4)

本田会計担当理事より公益法人化に向け今年度は公益法人会計に沿った予算を組んでいる旨説明後, 平成23年度収支予算案について資料を基に説明がなされこれを承認した。

第5号議案 定款の変更について(資料1)

昨年の総会ですでに承認いただいた公益法人への申請を今年度行う予定であり, そのための新しい定款案について遠藤理事より従来の定款と大きく変わる点について説明がなされ, 新定款案を承認した。

第6号議案 会費と入会金について

昨年度, 地方会のあり方についてすでに承認いただいている件について, 本部から地方会へ活動費用として分配することを今年度から行うこととし, そのための費用として会費を3,000円値上げする, 入会金として5,000円を徴収する旨の提案が出され, これを承認した。

第7号議案 名誉会員推薦について

杉村理事長より平成23年名誉会員として, 隈崎達夫君, 利波紀久君, 吉田祥二君, 梶原康正君, 海外から Dr. Gary M. Glazer 君と Dr. Guo Qiyong 君を推薦する旨の提案があり, これを承認した。

別表 1

平成22年度学会収支補正予算書(案)

平成22年3月1日から 平成23年2月28日まで

単位:円

科 目	補正予算額	当初予算額	増 減
収入の部			
学術振興事業収入	154,500,000	-	154,500,000
学術総会開催収入	90,000,000	-	90,000,000
秋季臨床大会開催収入	50,000,000	-	50,000,000
学術講演会開催収入	500,000	-	500,000
学術誌刊行収入	14,000,000	-	14,000,000
教育研究事業収入	46,500,000	-	46,500,000
専門医認定事業収入	39,000,000	-	39,000,000
研修教育事業収入	1,000,000	-	1,000,000
学術研究事業収入	6,500,000	-	6,500,000
一般会計収入	108,600,000	-	108,600,000
正会員会費収入	96,000,000	-	96,000,000
賛助会員会費収入	4,000,000	-	4,000,000
受取利息	100,000	-	100,000
雑収入	8,500,000	-	8,500,000
当期収入合計	309,600,000	-	309,600,000
前期繰越収支差額	123,777,186	123,777,186	-
収入合計	433,377,186	123,777,186	309,600,000
支出の部			
学術振興事業費	204,100,000	-	204,100,000
学術総会開催費	90,000,000	-	90,000,000
会場費・運営費	75,000,000	-	75,000,000
印刷製本費	1,000,000	-	1,000,000
講師招請費	5,000,000	-	5,000,000
事務局運営費	5,000,000	-	5,000,000
消耗品費	1,000,000	-	1,000,000
通信運搬費	1,000,000	-	1,000,000
旅費交通費	1,000,000	-	1,000,000
支払手数料	500,000	-	500,000
諸雑費	500,000	-	500,000
秋季臨床大会開催費	52,000,000	-	52,000,000
会場費・運営費	45,000,000	-	45,000,000
印刷製本費	1,000,000	-	1,000,000
講師招請費	2,500,000	-	2,500,000
事務局運営費	2,000,000	-	2,000,000
消耗品費	500,000	-	500,000
通信運搬費	400,000	-	400,000
旅費交通費	500,000	-	500,000
諸雑費	100,000	-	100,000
学術講演会開催費	2,600,000	-	2,600,000
会場費・運営費	1,000,000	-	1,000,000
印刷製本費	500,000	-	500,000
講師招請費	500,000	-	500,000
事務局運営費	200,000	-	200,000
通信運搬費	200,000	-	200,000
旅費交通費	100,000	-	100,000
諸雑費	100,000	-	100,000
学術誌刊行事業費	58,000,000	-	58,000,000
印刷製本費	48,000,000	-	48,000,000
通信運搬費	8,500,000	-	8,500,000
会議費	1,000,000	-	1,000,000
諸雑費	500,000	-	500,000
普及啓発活動事業費	1,500,000	-	1,500,000
教育研究事業費	68,300,000	-	68,300,000
専門医認定事業費	55,300,000	-	55,300,000
会場費・運営費	15,000,000	-	15,000,000
印刷製本費	3,000,000	-	3,000,000
機器管理費	6,000,000	-	6,000,000
通信運搬費	3,000,000	-	3,000,000
給与費	13,000,000	-	13,000,000
業務委託費	1,500,000	-	1,500,000
会議費	4,000,000	-	4,000,000
旅費交通費	500,000	-	500,000
消耗品費	1,000,000	-	1,000,000
家賃負担額	6,500,000	-	6,500,000
専門医認定機構負担金	1,200,000	-	1,200,000
専門医教育ガイドライン作成事業費	500,000	-	500,000
諸雑費	100,000	-	100,000
研修教育事業費	1,000,000	-	1,000,000
学術研究事業費	8,000,000	-	8,000,000
調査研究事業費	2,000,000	-	2,000,000
関連学術団体協力事業費	2,000,000	-	2,000,000
管理費	37,200,000	-	37,200,000
人件費	2,500,000	-	2,500,000
会議費	4,000,000	-	4,000,000
事務所費	1,200,000	-	1,200,000
通信費	7,500,000	-	7,500,000
旅費交通費	500,000	-	500,000
消耗品費	1,500,000	-	1,500,000
光熱水費	500,000	-	500,000
租税公課	10,000,000	-	10,000,000
機器管理費	200,000	-	200,000
会員管理委託費	5,000,000	-	5,000,000
支払手数料	3,500,000	-	3,500,000
雑費	800,000	-	800,000
当期支出合計	309,600,000	-	309,600,000
当期収支差額	-	-	-
次期繰越収支差額	123,777,186	123,777,186	-

平成22年度 収支計算書

平成22年3月1日から平成23年2月28日まで

社団法人 日本医学放射線学会

単位：円

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
収入の部			
1. 学術振興事業収入	154,500,000	230,151,180	75,651,180
学術総会開催収入	90,000,000	122,208,020	32,208,020
秋季臨床大会開催収入	50,000,000	94,476,945	44,476,945
学術講演会開催収入	500,000	300,000	-200,000
学術誌刊行収入	14,000,000	13,166,215	-833,785
2. 教育研究事業収入	46,500,000	62,857,935	16,357,935
専門医認定事業収入	39,000,000	55,573,680	16,573,680
研修教育事業収入	1,000,000	970,000	-30,000
学術研究事業収入	6,500,000	6,314,255	-185,745
3. 一般会計収入	108,600,000	114,120,722	5,520,722
正会員会費収入	96,000,000	101,400,000	5,400,000
賛助会員会費収入	4,000,000	3,750,000	-250,000
受取利息	100,000	83,136	-16,864
雑収入	8,500,000	8,887,586	387,586
4. 仮払金返金収入	-	3,018,000	3,018,000
総会事業費仮払分返金収入	-	3,018,000	3,018,000
5. 特定預金取崩収入	-	47,197,802	47,197,802
板井賞基金積立預金取崩収入	-	501,680	501,680
名簿作成費積立預金取崩収入	-	3,513,218	3,513,218
I T化事業費積立預金取崩収入	-	41,042,175	41,042,175
専門医認定基金積立預金取崩収入	-	1,570,635	1,570,635
納税準備積立預金取崩収入	-	570,094	570,094
当期収入合計	309,600,000	457,345,639	147,745,639
前期繰越収支差額	123,777,186	123,777,186	-
収入合計	433,377,186	581,122,825	147,745,639

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
支出の部			
1. 学術振興事業費	204,100,000	256,578,878	-52,478,878
学術総会開催費	90,000,000	111,685,703	-21,685,703
秋季臨床大会開催費	52,000,000	82,257,692	-30,257,692
学術講演会開催費	2,600,000	213,630	2,386,370
学術誌刊行事業費	58,000,000	60,879,500	-2,879,500
普及啓発活動事業費	1,500,000	1,542,353	-42,353
2. 教育研究事業費	68,300,000	71,375,676	-3,075,676
専門医認定事業費	55,300,000	58,760,540	-3,460,540
研修教育事業費	1,000,000	430,523	569,477
学術研究事業費	8,000,000	7,720,225	279,775
調査研究事業費	2,000,000	1,871,687	128,313
関連学術団体協力費	2,000,000	2,592,701	-592,701
3. 管理費	37,200,000	41,071,741	-3,871,741
人件費	2,500,000	2,789,810	-289,810
会議費	4,000,000	4,102,522	-102,522
事務所費	1,200,000	1,081,908	118,092
通信費	7,500,000	6,366,651	1,133,349
旅費交通費	500,000	253,090	246,910
消耗品費	1,500,000	1,214,473	285,527
光熱水費	500,000	498,617	1,383
租税公課	10,000,000	15,376,800	-5,376,800
機器管理費	200,000	191,971	8,029
会員管理委託費	5,000,000	5,163,564	-163,564
支払手数料	3,500,000	3,367,743	132,257
雑費	800,000	664,592	135,408
4. 備品購入支出	-	23,586,245	-23,586,245
備品購入支出	-	134,600	-134,600
ソフトウェア購入支出	-	23,451,645	-23,451,645
5. 仮払金支出	-	4,500,000	4,500,000
仮払金支出	-	4,500,000	4,500,000
6. 特定預金積立支出	-	58,316,200	58,316,200
学術研究会基金積立支出	-	30,000,000	-30,000,000
板井賞基金積立支出	-	2,118	-2,118
名簿作成費積立支出	-	854	-854
IT化事業費積立支出	-	5,441	-5,441
がっくろん作成基金積立支出	-	6,942	-6,942
納税準備積立支出	-	173	-173
専門医認定基金積立支出	-	9,734	-9,734
退職給与費積立支出	-	1,394	-1,394
放射線科啓蒙活動基金積立支出	-	18,279,593	-18,279,593
国際交流基金積立支出	-	10,007,463	-10,007,463
国内関連学会事業基金積立支出	-	2,488	-2,488
当期支出合計	309,600,000	455,428,740	-145,828,740
当期収支差額	-	1,916,899	1,916,899
次期繰越収支差額	123,777,186	125,694,085	1,916,899

平成22年度 財産目録

平成 23 年 2 月 28 日現在

社団法人 日本医学放射線学会

単位：円

科 目		金	額
I	資産の部		
1	流動資産		
	現金預金		
	現金	現金手許有高	84,962
	銀行預金		
	普通預金	みずほ銀行 根津支店 (一般)	69,718,534
		みずほ銀行 根津支店 (研究助成)	437
		みずほ銀行 根津支店 (学術総会)	7,056,748
		みずほ銀行 本郷支店	4,683,248
		みずほ銀行 東京中央支店	632,173
		三井住友銀行 白山支店 (一般)	29,009,876
		三菱東京UFJ銀行 本郷支店	231,842
	定期預金	三井住友銀行 白山支店	10,000,000
		三井住友銀行 白山支店	2,100,000
	郵便振替貯金	(一般)	13,738,730
		(一般)	2,528,948
		(学術総会参加費)	8,079,000
	仮払金	総会開催準備金	4,500,000
	前払金	従業員退職給付債務積立超過分	466,470
	未収金	雑収入他期末未収分	3,157,372
		流動資産合計	155,988,340
2	固定資産		
(1)	基本財産		
	定期預金	三菱東京UFJ銀行 本郷支店	10,000,000
		基本財産合計	10,000,000
(2)	その他の固定資産		
	建物	赤門アビタシオン301	3,514,000
	建物附属設備	水洗トイレ	539,205
		室内改装	4,146,955
		パーチカルブラインド	112,660
		屋根・外壁・外廊下・軒裏等改修	3,250,450
		電気設備工事	128,440
		パーテーション設置工事他	3,263,220

科 目		金	額		
什器備品	クーラー	55,660			
	ステンレス製看板	11,481			
	セントラルヒーティング	101,200			
	書庫	189,861			
	移動ラック	622,808			
	クーラー	56,850			
	CCDタッチスキャナ	53,979			
	事務所机・椅子・書庫等一式	2,351,289			
	事務所電話設備一式	202,125			
	書棚	189,287			
	プロジェクターEMP-1826SP	135,361			
	画像配信用サーバー	295,260			
	一括償却資産 ソフトウェア	当年度取得分	89,734		
		会員管理システム構築費	1,759,275		
		IC会員カードシステム構築費	14,883,628		
	情報管理システム構築費	13,845,068			
特定預金					
学術研究会基金引当預金	三井住友銀行 白山支店	30,000,000			
板井研究奨励賞引当預金	みずほ銀行 根津支店	8,338,387			
がいのらひ作成基金引当預金	みずほ銀行 根津支店	27,930,597			
専門医認定基金引当預金	みずほ銀行 根津支店	38,343,674			
放射線科啓蒙活動基金引当預金	みずほ銀行 根津支店	28,311,172			
国際交流基金引当預金	みずほ銀行 根津支店	40,026,447			
国内関連学会事業基金引当預金	三井住友銀行 白山支店	10,005,663			
退職給与引当預金	みずほ銀行 根津支店	5,606,700			
長期預け金	敷金その他差入分	5,744,000			
	その他の固定資産合計	244,104,436			
	固定資産合計		254,104,436		
	資産合計			410,092,776	
II 負債の部					
1 流動負債					
未払金	期末諸費用未払分	10,327,143			
前受金	第70回総会参加事前登録費	320,000			
未払法人税等	当年度確定法人税等	13,992,300			
未払消費税等	当年度確定消費税等	633,000			
預り金	源泉所得税・住民税預り金	34,079			
	医師賠償責任保険預り金	487,733			
	流動負債合計		25,794,255		
2 固定負債					
退職給付引当金	従業員退職給付債務引当分	5,606,700			
	固定負債合計		5,606,700		
	負債合計			31,400,955	
	正味財産			378,691,821	
	うち基本金			10,000,000	
	差引正味財産額			368,691,821	

平成23年度 収支予算書(案)

平成23年3月1日から平成24年2月28日まで

単位：円

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
収入の部			
学術振興事業収入	174,000,000	154,500,000	19,500,000
学術総会開催収入	90,000,000	90,000,000	-
秋季臨床大会開催収入	50,000,000	50,000,000	-
学術講演会開催収入	20,000,000	500,000	19,500,000
学術誌刊行収入	14,000,000	14,000,000	-
教育研究事業収入	66,500,000	46,500,000	20,000,000
専門医認定事業収入	60,000,000	39,000,000	21,000,000
研修教育事業収入	-	1,000,000	-1,000,000
学術研究事業収入	6,500,000	6,500,000	-
一般会計収入	132,600,000	108,600,000	24,000,000
正会員会費収入	120,000,000	96,000,000	24,000,000
賛助会員会費収入	4,000,000	4,000,000	-
受取利息	100,000	100,000	-
雑収入	8,500,000	8,500,000	-
当期収入合計	373,100,000	309,600,000	63,500,000
前期繰越収支差額	125,694,085	125,694,085	-
収入合計	498,794,085	435,294,085	63,500,000

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
支出の部			
学術振興事業費	249,500,000	204,100,000	45,400,000
学術総会開催費	93,000,000	90,000,000	3,000,000
会場費・運営費	78,000,000	75,000,000	3,000,000
印刷製本費	1,000,000	1,000,000	-
講師招請費	5,000,000	5,000,000	-
事務局運営費	5,000,000	5,000,000	-
消耗品費	1,000,000	1,000,000	-
通信運搬費	1,000,000	1,000,000	-
旅費交通費	1,000,000	1,000,000	-
支払手数料	500,000	500,000	-
諸雑費	500,000	500,000	-
秋季臨床大会開催費	53,500,000	52,000,000	1,500,000
会場費・運営費	46,500,000	45,000,000	1,500,000
印刷製本費	1,000,000	1,000,000	-
講師招請費	2,500,000	2,500,000	-
事務局運営費	2,000,000	2,000,000	-
消耗品費	500,000	500,000	-
通信運搬費	400,000	400,000	-
旅費交通費	500,000	500,000	-
諸雑費	100,000	100,000	-
学術講演会開催費	38,000,000	2,600,000	35,400,000
会場費・運営費	20,000,000	1,000,000	19,000,000
印刷製本費	7,500,000	500,000	7,000,000
講師招請費	7,500,000	500,000	7,000,000
事務局運営費	1,500,000	200,000	1,300,000
通信運搬費	500,000	200,000	300,000
旅費交通費	500,000	100,000	400,000
諸雑費	500,000	100,000	400,000
学術誌刊行費	63,500,000	58,000,000	5,500,000
印刷製本費	50,000,000	48,000,000	2,000,000
通信運搬費	12,000,000	8,500,000	3,500,000
会議費	1,000,000	1,000,000	-
諸雑費	500,000	500,000	-
普及啓発活動事業費	1,500,000	1,500,000	-
教育研究事業費	81,300,000	68,300,000	13,000,000
専門医認定事業費	64,300,000	55,300,000	9,000,000
会場費・運営費	15,000,000	15,000,000	-
印刷製本費	6,000,000	3,000,000	3,000,000
機器管理費	6,500,000	6,000,000	500,000
通信運搬費	6,000,000	3,000,000	3,000,000
給与費	14,000,000	13,000,000	1,000,000
業務委託費	3,000,000	1,500,000	1,500,000
会議費	4,000,000	4,000,000	-
旅費交通費	500,000	500,000	-
消耗品費	1,000,000	1,000,000	-
家賃負担額	6,500,000	6,500,000	-
専門医認定機構負担金	1,200,000	1,200,000	-
専門医教育プラットフォーム作成事業費	500,000	500,000	-
諸雑費	100,000	100,000	-
研修教育事業費	1,000,000	1,000,000	-
学術研究事業費	8,000,000	8,000,000	-
調査研究事業費	2,000,000	2,000,000	-
関連学術団体協力事業費	6,000,000	2,000,000	4,000,000
管理費	42,300,000	37,200,000	5,100,000
人件費	3,000,000	2,500,000	500,000
会議費	4,000,000	4,000,000	-
事務所費	1,200,000	1,200,000	-
通信費	7,000,000	7,500,000	-500,000
旅費交通費	500,000	500,000	-
消耗品費	1,500,000	1,500,000	-
光熱水費	500,000	500,000	-
租税公課	11,000,000	10,000,000	1,000,000
機器管理費	200,000	200,000	-
会員管理委託費	5,000,000	5,000,000	-
支払手数料	5,000,000	3,500,000	1,500,000
選挙費	3,000,000	-	3,000,000
雑費	400,000	800,000	-400,000
当期支出合計	373,100,000	309,600,000	63,500,000
当期収支差額	-	-	-
次期繰越収支差額	125,694,085	125,694,085	-

平成22年度 正味財産増減計算書

平成22年3月1日から平成23年2月28日まで

社団法人 日本医学放射線学会

単位：円

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 学術振興事業収入	230,151,180	-	230,151,180
学術総会開催収入	122,208,020	-	122,208,020
秋季臨床大会開催収入	94,476,945	-	94,476,945
学術講演会開催収入	300,000	-	300,000
学術誌刊行収入	13,166,215	-	13,166,215
② 教育研究事業収入	62,857,935	-	62,857,935
専門医認定事業収入	55,573,680	-	55,573,680
研修教育事業収入	970,000	-	970,000
学術研究事業収入	6,314,255	-	6,314,255
③ 一般会計収入	114,120,722	-	114,120,722
正会員会費収入	101,400,000	-	101,400,000
賛助会員会費収入	3,750,000	-	3,750,000
受取利息	83,136	-	83,136
雑収入	8,887,586	-	8,887,586
経常収益計	407,129,837	-	407,129,837
(2) 経常費用			
① 学術振興事業費	256,578,878	-	256,578,878
学術総会開催費	111,685,703	-	111,685,703
秋季臨床大会開催費	82,257,692	-	82,257,692
学術講演会開催費	213,630	-	213,630
学術誌刊行事業費	60,879,500	-	60,879,500
普及啓発活動事業費	1,542,353	-	1,542,353
② 教育研究事業費	71,375,676	-	71,375,676
専門医認定事業費	58,760,540	-	58,760,540
研修教育事業費	430,523	-	430,523
学術研究事業費	7,720,225	-	7,720,225
調査研究事業費	1,871,687	-	1,871,687
関連学術団体協力費	2,592,701	-	2,592,701
③ 管理費	55,713,971	-	55,713,971
人件費	8,396,510	-	8,396,510
会議費	4,102,522	-	4,102,522
事務所費	1,081,908	-	1,081,908
通信費	6,366,651	-	6,366,651
旅費交通費	253,090	-	253,090
消耗品費	1,214,473	-	1,214,473
光熱水費	498,617	-	498,617
租税公課	15,376,800	-	15,376,800
減価償却費	9,035,530	-	9,035,530
機器管理費	191,971	-	191,971
会員管理委託費	5,163,564	-	5,163,564
支払手数料	3,367,743	-	3,367,743
雑費	664,592	-	664,592
経常費用計	383,668,525	-	383,668,525
当期経常増減額	23,461,312	-	23,461,312
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	-	-	-
(2) 経常外費用			
備品除却額	141,422	-	141,422
経常外費用計	141,422	-	141,422
当期経常外増減額	-141,422	-	-141,422
当期一般正味財産増減額	23,319,890	-	23,319,890
一般正味財産期首残高	355,371,931	355,371,931	-
一般正味財産期末残高	378,691,821	355,371,931	23,319,890
II 指定正味財産増減の部			
III 正味財産期末残高	378,691,821	355,371,931	23,319,890

第70回日本医学放射線学会代議員会提案事項と事由

(平成23年5月29日開催)

1. 専門医制度の改革に伴う名称と基準（特に他学会や認定制度の受験資格に関して）を明確にして、HP上に表明すること。

久留米大学 安倍等思

事由

放射線科専門医とは、放射線診断専門医（以下「診断専門医」または放射線治療専門医（以下「治療専門医」）の育成のために、その前段階として、診断専門医および治療専門医のいずれにも求められる放射線科全般に及ぶ知識と経験を一定レベル以上に有する放射線科医である。なお、診断専門医、治療専門医に関しては「放射線診断専門医」規定、「放射線治療専門医」規定に、別途定める、とあります。放射線科専門医の資格について日本脳神経血管内治療学会理事会において専門医の受験資格について問題となっておりますので、このような混乱が無くなるように明示していただきたいと思えます。

○疑問点1

専門医認定機構の基本13学会の専門医として認定されるは「専門医」ですか、それとも「診断専門医」と「治療専門医」でしょうか？

○疑問点2

日本脳神経血管内治療学会の専門医受験資格として現在は「日本医学放射線学会・放射線診断専門医認定証」の写しが必要となっておりますが、日医放の制度変更にもない「放射線科専門医」とすることが検討されています。その理由として受験できる医師の範囲をなるべく広くすることと「放射線科専門医」が日医放の専門医制度上明確に規定されていること（五年間の臨床経験を積んでいること）が理由となっております。

- 1 放射線科専門医
- 2 診断専門医
- 3 診断専門医および治療専門医

○疑問点3

受験の資格としてがん治療認定医などでも類似の状況が起こりうると思われます。他の事例があれば教えていただきたいと思えます。

2. 画像診断に関わる我が国の統計資料、たとえばモダリティ数、モダリティ別検査数、読影件数（常勤、非常勤、遠隔）などを継続的に調査し、かつアーカイブする体制を構築してほしい。

聖マリアンナ医科大学 中島康雄

事由

各国の経済指標はOECDが管理しているが医療面でも各国の年間検査数などの統計が

報告されている。しかし、日本の画像診断に関わる数字は空欄になっているのが現状。国際化に向けて日本の現状を知ってもらう資料として重要であるだけでなく厚生労働省への診療報酬要求の基礎資料、放射線科医の獲得にも役立つと考える。最近 JCR で放射線科専門医に対してアンケート調査を行い放射線科医個人のデータを収集することは出来たが放射線診療全体としての数字がない。学会が音頭をとり関連企業、団体も巻き込んで持続的に資料がそろえるような体制を作してほしい。実際には保険委員会の機能充実が必要で委員の合意と参画を促進するサポート体制を作りたい。

3. 放射線診断における Quality Assurance (QA)

東北大学放射線腫瘍学分野 有賀久哲

事由

診断機器の進歩による読影ボリュームの増加が著しく、放射線診断医の日常診療負担が限度を超えているように見受けられる。

診断機器の性能でなく、放射線診断医のキャパシティに基づく、検査数・施設基準等に関する学会主導のガイドラインが必要ではないでしょうか。

4. 代議員会提案における算疑応答内容の議事録掲載について

聖路加国際病院 齋田 幸久

事由

自由な発想と討論は会の活性化につながると思います。広く会員の皆様にもこの内容を知って戴くことは重要かと思えます。日医放雑誌への掲載をお願いしたいと思います。

5. 放射線部内システムの構築に IHE-J/電子カルテの厚生労働省標準規格を積極的に取り入れるよう会員に広報する。

埼玉医科大学総合医療センター 本田 憲業

事由

1. 標準規格の普及のため
2. 放科医にとって業務がおこないやすい環境の作成に寄与させるため